

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている	一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	来客数の動き	・東日本大震災により、客が地震に備えた商品を買ってきたため、売上は好調に推移している。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・東日本大震災の前は既存店の前年比が計画を上回る数値で推移していた。地震直後は来店客が買いために走る購買行動を見せている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・東日本大震災の前は数字も良くなっていた。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・東日本大震災による被害もあって、商品がにわかにか動き出している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・東日本大震災の影響で品薄ではあるが、まとめ買いというか、必要以上に物を買うような傾向が見られる。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・東日本大震災の影響で、一時的に消費が伸びている。
	変わらない	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・東日本大震災後は、繁華街にも身の回り品を求める客がたくさん訪れて列をなしていたが、商品売りつくすと、補充する手当がないため、客は欲しい商品を求めて歩き回っていた。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・東日本大震災の影響で客が買占めに回っており、一時的に売上等が良くなっているが、普段の様子はこれまでと変わらない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故の影響で、水や食料品、紙類、電池など非常用品の販売が異常に伸びた一方、生鮮品は低迷している。物流及び通信の麻痺に加え、燃料不足で景気回復どころではなく、物資不足への不安感からの需要増といえ、利益はないが売上は高い。物資の未入荷及び不足で従業員の出勤もままならないなか、営業時間を短縮しても店舗を開けているだけで客から感謝されており、生活インフラ機能及び客に対して安心感を与えるものとして、小売業の役割を再認識している。
		衣料品専門店（経営者）	それ以外	・東日本大震災等により生産、流通及び社会生活の面で不安が続いている。また、当地域は被害が少なく済んだものの、近隣地域は被害が甚大である。取引先の工場倒壊や事務所の被害等のほか、流通経路の寸断による商品のストップやガソリン不足から運送業は休業状態である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・相変わらず1人も来客のない日があり、売上も上がらない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・エコポイントの終了を前に東日本大震災による大きな影響が出て、低迷に追い討ちを掛けている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3月ということもあり車検は順調に増えているが、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故のニュースが多く流れているため、客は車を買うのを我慢している雰囲気があり、販売の方は自粛ムードが強まっている。
		その他専門店〔呉服〕（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の被害はないものの、来客数は少なく売上に響いている。客は我慢できる商品は我慢しているようである。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・景気は上向いていたものの、東日本大震災による被害は甚大である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・設備投資には相変わらず消極的である。
やや悪く なっている	商店街（代表者）	それ以外	・東日本大震災による被害は甚大で、売上や景況についていえる状態にはない。店舗の再生、企業の存続が危ぶまれる状況にある。	
	一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・東日本大震災の発生以降、来客数が激減し、売上も落ち込んでいる。	
	百貨店（販促担当）	販売量の動き	・前半は気温の上昇もあってファッションや雑貨が非常に動いており、東日本大震災発生後は食料品やリビング用品のセールで売上を伸ばしたものの、全体としては売上を大きく落としている。	
	スーパー（店長）	それ以外	・東日本大震災による店舗の被害が甚大である。また、地域の客に店頭販売をするなど努力はしているが、物流が回復しておらず、厳しい状況となっている。	

	スーパー（店長）	それ以外	・東日本大震災による特需の傾向が見られる。
	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・東日本大震災の前と後では大きく変わっている。地震前は全体的にやや上向き傾向であった。地震後は学生服やスーツ等の目的が明確な商品は動いたものの、し好性の強い商品については動きが鈍くなっている。
	衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・東日本大震災により、東北地方を中心に状況が悪化している。
	その他専門店〔パソコン〕（経営者）	お客様の様子	・東日本大震災の影響で商品不足が続いており、市場の動きは必要最小限にとどまっている。
	高級レストラン（支配人）	それ以外	・東日本大震災により今までのすべてが断ち切られたため、何も無いところからのスタートにならざるを得ない。修繕による休館の影響は甚大である。
	一般レストラン（スタッフ）	それ以外	・東日本大震災の影響で、景気が更に悪くなっている。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・月初めの10日間については多少早目の歓送迎会なども入っていたが、ローシーズンのため来客数はとても少なかった。11日以降は東日本大震災のため休業している。
	タクシー運転手美容室（経営者）	お客様の様子 来客数の動き	・東日本大震災の影響が大きい。 ・ここ1か月、燃料不足で外出する人が減り、美容室内の暖房も使えないため、営業できない状態である。
	設計事務所（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響により設備投資がストップしている。
	設計事務所（経営者）	それ以外	・東日本大震災により仕事がすべてストップしている。今は被害調査で忙しい。
	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・東日本大震災による流通の混乱から材料入手が遅れており、施主、業者、メーカーすべての資金がショートし始めている。
悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・東日本大震災のため従来との比較は難しいが、下降線をたどっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・東日本大震災による直接的な被害がない当地域においても、燃料不足や物資不足、電力不足等により、来街者数が極端に減少している。加えて、必要以外のものを買うのは駄目だというような雰囲気がある。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・東日本大震災後のガソリン不足から、郊外大型店に向いていた客層が中心商店街に集まり、客足は確保されている。しかし、商品の仕入れが停滞し、食料品は売れているものの、それ以外の販売品が日増しに少なくなっている。
	一般小売店〔書籍〕（経営者）	それ以外	・東日本大震災のため、営業店舗稼働率が軒並み3分の1の状態、景気を語るような状況にない。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・たばこが入荷しないため、売る商品がない。
	一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の前は売上が順調で、前年比で15%ほど上回っていたものの、地震後は同20%まで落ち込んでいる。通常であれば、1年で最も活気があり、売上が期待できる時期だが、全く不透明で資金繰りの予想が立たない。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・当店は駅前に立地し、鉄道を利用する客が多かったが、東日本大震災の被害で鉄道が止まったままであるため、これらの客は皆無である。また、福島第一原子力発電所の事故に対する恐れもあり、商店街の往来はほとんどなく、日々の売上は震災前の20%にも満たない状況である。
	一般小売店〔寝具〕（経営者）	お客様の様子	・東日本大震災により、客の多くも被災している。
	百貨店（売場主任）	それ以外	・東日本大震災後、休業日や営業時間の短縮など、悪条件が重なったせいもあるが、来客数が極端に少なく店内が閑散としている。食料品は品不足もあり、客が殺到した時期もあったが、月末は落ち着きを取り戻している。衣料品は入学式用などオケージョン対応の商品しか動いていない。
	百貨店（企画担当）	それ以外	・東日本大震災で状況が一変している。上旬ごろは営業部門の担当者で前年より上向きになるだろうとの話をしてしたが、東日本大震災後は、地震と津波による被害がどこまで拡大するのか見えない状況となっている。

百貨店（広報担当）	お客様の様子	・東日本大震災後、生活物資のみに販売が集中している。
百貨店（営業担当）	それ以外	・東日本大震災の前は冬物最終処分や春物の動き出しで前年を上回る実績を上げていたが、地震後は営業体制も十分に確保できず、臨時営業の形となっている。顧客も食品を中心に必要最低限の購買にとどまっている。
百貨店（経営者）	お客様の様子	・品薄の食品は先を争うように売れているが、食品以外、特にアパレルなどファッション関連の商品については壊滅状態である。
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・東日本大震災の直後は営業時間を短縮したため来客数も減少したが、時間が経ち少しずつ戻ってきている。すぐには必要でない春物アイテムの単品といったものは売上を大きく落としているが、必要性のある春のオケーション用のスーツは売上を伸ばしているほか、気温対応のコートなども120%の伸びを見せており、客単価は上昇している。
百貨店（経営者）	それ以外	・東日本大震災後は食料品等の生活必需品を中心に動いており、春物衣料は気温の低下が影響し厳しい状況である。
百貨店（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響で、最低限の生活消耗品や毎日の食費にしか人々の消費が回っていない。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・東日本大震災で沿岸地区の流通店舗は壊滅状態にある。県内の内陸部についても流通網が復旧していないので、商品が入ってこない状況である。また、ガソリン不足もあり、車での移動が不可能な状態である。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・被災地ではないが、東日本大震災以降、客の買いだめ心理がはたらき、来客数、買上点数が増加しており、その反動が一部で見られる。家庭内で相当量の在庫になっている可能性が大きい。
スーパー（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響で、商品手配など諸々の問題に燃料問題などが絡み、極めて悪い状況となっている。
スーパー（販促担当）	それ以外	・東日本大震災による三陸地域への影響が大きく、鮮魚及び水産加工品の再開の目途が全く立たない。また、食品製造工場のダメージも大きく、復旧には相当の時間を要する状況で、景気は悪化している。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・出だしは例年並みであったが、東日本大震災後は客の動きがかなり悪くなっている。
コンビニ（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響で物流が止まっており、たばこやコーヒーといった主要な商品が入ってこない。
コンビニ（経営者）	それ以外	・東日本大震災以前の景気は若干上向き傾向であったが、地震後は物資が届かず、届いてもすぐ売切れ状態になるため、現在は10～15時の限られた時間で運営している。たばこの売上は震災前と変わらず、売上の約50%はたばこである。
コンビニ（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響で物流が停滞している。また、営業時間の短縮を余儀なくされ、売上が激減している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・東日本大震災により甚大な被害を受けている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・東日本大震災の影響が大きく、景気の良し悪しは判断できかねる状況である。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・東日本大震災による被害が甚大で従業員等の人的被害や店舗建物の物理的被害が大きい。商品供給も滞っており、通常の営業ができる状態にはない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・東日本大震災の影響で店舗の商品物量が十分に持たず、営業時間を短縮せざるを得ない。消費者も購買を自粛する傾向が続いている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災後、ライフラインがとまった影響で数日間の休業を余儀なくされた。休業明けも客の来店はほとんどない。
衣料品専門店（店長）	それ以外	・東日本大震災後、店舗もかなり破損していたが、3、4日後から、仕上がっている商品や火急な用途のワイシャツや黒いネクタイなどへの問い合わせが多くなったため、営業時間をほぼ半分にし、店内の危険な場所を避けた一部エリアで営業している。日に日に客足は回復しているが、必要に迫られての用途なうえ、開いていてよかったという状況なので、店の立て直しは後回しにして客の要望にこたえている。

衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・東日本大震災により買物は自粛ムードで、来客数が減っている。また、目的買いで来店した客に対しても、物流の停滞によって注文にこたえられず、売り逃がしてしまうケースもある。
衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・東日本大震災で、入学や就職によるスーツ需要が激減している。
乗用車販売店 (経営者)	それ以外	・東日本大震災発生以来、社員、家族、客の安否確認、被害状況の把握、そして救援活動に非常時体制で取り組んでおり、忙殺されている状況である。社員や会社も甚大な被害を被ったが、被害が軽微な店舗より稼働させ、当番体制をとりながら整備、修理作業に緊急対応させている。地震後は来店客も激減しており、前年3月の40%前後の市場になるのではないかと見込んでいる。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・東日本大震災の影響で新車や部品の供給がストップしている。客の来店も減り、販売は大幅減少となっている。
乗用車販売店 (経営者)	それ以外	・東日本大震災により経済は立て直しようがない状態である。
乗用車販売店 (経営者)	それ以外	・東日本大震災の影響で県内では物流のすべてが麻痺しており、新車納車からサービス用品、点検車検に至るまで、すべてのディーラー機能が完全にダウンしている。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・東日本大震災の影響で、販売量がほとんどなくなっている。
住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・東日本大震災の前も前年比で多少の落ち込みはあったが、地震後は不要不急の消費が止まっており、前年比60%まで落ち込んでいる。
住関連専門店 (経営者)	それ以外	・東日本大震災以降、ガソリンや物資等々の不安から、消費者はそちらの方に動いている。また、ガソリンが供給されず動けない状況で、来客数等すべてが下回っている。
その他専門店 [酒](経営者)	販売量の動き	・3月は人や物も動く時期なので大きな期待をしていたが、東日本大震災の影響による人々の混乱から、商売が成り立つような環境ではなくなり、開店休業状態が続いている。飲食店も営業を再開するようになってきたが、再開できない店もまだ多い。
その他専門店 [食品](経営者)	それ以外	・東日本大震災の影響により、市内への観光客は激減を乗り越え、皆無に近い状態である。また、物流機能の麻痺により出荷ができず、売上は前年比30%程度である。
その他専門店 [靴](経営者)	お客様の様子	・東日本大震災の影響で客の生活そのものが混乱しており、就職先が営業できなくなったり、自宅待機を命じられる人が多くなっている。さらに、自粛ムードが追い討ちをかけている。
その他専門店 [酒](営業担当)	お客様の様子	・東日本大震災の影響で、週明けの14日以降は売上が前年の約半分になっている。各種イベントや飲食会が中止され、絶望的な状況である。また、地元はガソリンや灯油を始めとした物資の不足で四苦八苦している。
その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・例年であれば年度末で受注が延びるはずであったが、東日本大震災の影響でかなり延期になったり取りやめになったりしている。月末になりやっとガソリンも入ってきたので営業はできるが、運送便の乱れや混乱が続いている。ただ、状況が状況なので、客も無理は言わないところが多い。
その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	それ以外	・ガソリンスタンドを営業しているが、東日本大震災の影響で商品の供給が綱渡りであるため、営業ができなかったり状況となっている。また、売上の落ち込みに加え、本来販売時期を迎えているタイヤなどの需要が全くないため、収益に重大な影響が出ることは避けられない。また、物流が止まっているため生活に多大な影響が出ている。
その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	競争相手の様子	・東日本大震災の影響で市場が混乱しているため物資が届かず、最悪の状態となっている。
高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・東日本大震災発生以降、すべての客がキャンセルとなっており、4月の予約もほとんど入っていない。収入が全くない状況である。

一般レストラン (経営者)	それ以外	・東日本大震災の影響でストップ状態であり、経営的に厳しい状況にある。
一般レストラン (経営者)	それ以外	・東日本大震災により経済活動が止まっているので、プラスの要素がなく、すべてがマイナス要素となっている。
一般レストラン (経営者)	それ以外	・これまでも悪い状態が続いていたが、東日本大震災によりこれまでが比較的順調だったと思えるほどどん底状態となっている。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・東日本大震災の影響が相当出ている。電気や燃料、食料などすべてが止まっているため皆が危機感を抱いており、なかなか外には出てこない状況である。
一般レストラン (支配人)	それ以外	・東日本大震災の影響で3月いっぱい営業休止状態である。
その他飲食[弁当] (スタッフ)	来客数の動き	・東日本大震災の影響で閉店時間が早まっていること、商品が入ってこないことで、売上が非常に落ち込んでいる。
観光型ホテル (スタッフ)	それ以外	・東日本大震災により、かなりの被害を受けている。今後のことは白紙の状態、正常営業を再開する日にちが決まっていない。
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・東日本大震災の影響で10日間営業を休止した。その後も、灯油やガソリン、食材が手に入らない状況が続いているため、サービス内容を縮小し、一部の部屋で簡単な食事付きの低価格な宿泊プランの営業を始めたが、客はほとんどない状況である。一部では、復興支援関係者の宿泊需要があるようだが、被災地に近いホテルや旅館の営業開始とともに、客はそちらに移っている。地震発生以降は、売上がほとんどない状況である。
観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・東日本大震災の発生により、個人客、団体客共にキャンセルが続出している。また、福島第一原子力発電所の事故により日本への渡航を自粛する動きが出ており、インバウンドもすべてキャンセルとなっている。
都市型ホテル (経営者)	お客様の様子	・東日本大震災の影響で断水及び食料品の物流が止まっており、当社も客を受け入れられない状態となっている。宿泊は何とかやっているが、歓送迎会を行う雰囲気ではないということもあり、宴会関係はキャンセルが相次いでいる。一番の書き入れ時にこのような地震が起きて、大変苦慮している。
都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・総合ホテル業だが、宿泊客はなく、普通の宴会は自粛され、婚礼は延期する客が多くなっており、悪い材料ばかりである。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・東日本大震災の発生以来、宴会を始め、レストランや宿泊のキャンセルが相次いでいる。さらに、東北地方でも計画停電が実施される可能性があるため、企画イベントは自粛している。
都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・例年、年度末は送別会を中心に1、2月の低迷分をカバーし、かつ単月黒字の見通しだったが、東日本大震災により一転、危機的状況になっている。
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・東日本大震災の影響で交通機関等に甚大な影響があり、ホテルで開催予定のイベントのほとんどがキャンセルとなっている。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・東日本大震災の影響で、予約の取り消しが相当数に上っている。
旅行代理店(従業員)	それ以外	・東日本大震災の影響により、膨大な数の予約取消が発生している。
タクシー運転手	来客数の動き	・東日本大震災によ未曾有の被害のために、街には客がおらず、ガソリンがなくて車も走らせることができない状況である。
通信会社(営業担当)	それ以外	・東日本大震災の影響で企業の生産性が低下し、先行き不透明なため、経済的打撃が大きくなっている。物資不足の解消やライフラインが確立されるまで、企業の再建はない。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・東日本大震災の影響は程度の差はあるものの、ほとんどが厳しい状況である。
通信会社(営業担当)	それ以外	・東日本大震災の影響で店舗にも被害が発生し、復旧作業と並行して時間を短縮しての営業となっている。また、客の来店目的は、地震の影響による手続きが大半を占めている。

	観光名所（職員）	来客数の動き	・フリーの客は鉄道関係が動いていないためほとんど入込がなく、予約もほぼ100%キャンセルとなっている。	
	観光名所（職員）	それ以外	・東日本大震災の影響で、沿岸部の甚大な被害やガソリン不足による物流機能低下、東北新幹線の一部休止、福島第一原子力発電所の事故による放射線漏れなど数々の問題が起こっており、東北地方へ旅行する機運が盛り上がるような状況にない。	
	遊園地（経営者）	それ以外	・東日本大震災による停電、断水で休業しており、再開は4月中旬にずれ込みそうである。施設の被害も斜面の土砂崩れなどが大きく、復旧費用もかさみ、経営への影響が甚大である。	
	美容室（経営者）	それ以外	・東日本大震災により店を閉めている。ライフラインがストップしており、湯を使う商売なので商売にならない。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の影響で閉店している。	
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	それ以外	・東日本大震災の前と後では、燃料不足、原材料不足、消費の低迷、物価の高騰等、経済基盤が全く変わってしまい、被災者のみならず、東北地方全体が生活できるかどうかの危機的状況にある。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災後、消費者の備蓄志向もあり、一時的に受注が急増した。その後落ちついてきているが、原材料の入荷状況が悪く、商品供給で欠品が生じている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地域の公共投資増加が引き金となり、民間の小口工事の増加につながっている。
		公認会計士	取引先の様子	・クライアントの決算状況や月次状況から判断して、収支状況はやや改善してきている。ただし、同じ赤字でも赤字幅が縮小している状況で、黒字企業が増えているわけではない。
	変わらない	農林水産業（従業者）	それ以外	・米の戸別所得補償の変動部分が支給されたものの、米価の下落を補って余りあるとはいえない。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・新規契約については停滞ぎみであり、既存契約の継続を促すのに精一杯な状況である。
	やや悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の影響で3月の受注がストップし、影響が出ている。
		土石製品製造販売（従業員）	取引先の様子	・東日本大震災の影響を受け、道路が寸断し、燃料不足も重なり仕事にならない。取引先も大きな打撃を受け、どん底の状態である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	それ以外	・東日本大震災の影響が出ている。
		建設業（企画担当）	それ以外	・東日本大震災により通常機能がストップし、地震対応をしている。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・東日本大震災の影響から売上減少が続いており、災害対策資金の相談が多い。良い話は何も聞かれず、今が心配との声が多くなっている。
		悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外
	食料品製造業（経営者）		取引先の様子	・東日本大震災のあおりを受け、新幹線や鉄道は止まり、高速道路も通行止め、ホテルや旅館も被害を受けているなかで、客が来られず、我々お土産業といった業種からすると売上は全く望めない状況である。
	食料品製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・東日本大震災で工場が被害を受け、工場、店舗共に停止していたため、売上がない日が続いていた。24日から工場を一部稼働しているものの、閉店している店舗はいまだ多い。
食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き		・東日本大震災による影響で資材が入ってこない。また、生産できても物流が完全復旧していないため輸送できない。	
出版・印刷・同関連産業（経営者）	それ以外		・東日本大震災の影響で売上は見込の半分で止まっている。	
出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き		・東日本大震災発生以来、工場も2週間以上にわたって全面ストップしている。	

	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車部品については、東日本大震災以降、メーカーのラインが停止し、一部の納入がストップしている。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・大手取引先は被災した地域企業へ具体的な支援をすることで、納期の確認に終始しており、対応できない場合は別のところを探すというような気配も見せている。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・東日本大震災により、主要荷主数社が津波により壊滅的被害を受けている。当社も場内の詰め所、事務所、機械装備等が流出、冠水し、多大なる被害を受けている。	
	通信業（営業担当）	それ以外	・東日本大震災による被害で、各業種や業態に大きな影響が出ている。	
	広告業協会（役員）	それ以外	・東日本大震災により、広告主からの出稿停止の要望が相次いでおり、広告業界は未曾有の危機に立たされている。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災及び津波の影響により、得意先の広告のオーダーがストップ状態である。	
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・東日本大震災の影響で広告物の中止や自粛が多数発生している。印刷物に関しては、用紙の供給が止まり手に入りにくい状態のため断念している。本来であれば年度末で書き入れ時であり、相当のダメージを受けている。	
	コピーサービス業（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響で、景気を語れるような状況にない。	
	その他非製造業 〔飲食料品卸売業〕（経営者）	取引先の様子	・東日本大震災により、沿岸部の小売店は壊滅的な被害となっており、内陸部の店舗も燃料不足で配送できない状況である。飲食店も再開の目途が立たず、今月の回収ができていない小売店が多数ある。	
	その他企業〔工場施設管理〕 （従業員）	取引先の様子	・東日本大震災による被害が取引先の工場を出ている。また、電力が不足しているため操業を自粛している。さらに、関連会社からの部品、材料、薬品類等の調達が困難を極めており、生産ラインの稼働に影響を及ぼし、生産性が大きく落ち込んでいる。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外	・東日本大震災の影響で、一時的に損害保険会社での外部人材ニーズが大きく膨らんでいる。同時に、3月末で企業都合により終了予定だった契約が延長になるケースも出ている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新幹線の延伸開業とデスティネーションキャンペーンへの期待から、東日本大震災前までは宿泊及び観光に動きがあり、マインドは上向いていた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で引き続き増加しており、有効求人倍率も上向いている。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年6月以来、新規求人が前年比で増加を続けていたが、東日本大震災により雇用状況の先が見えなくなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比でやや減少し、4か月連続での減少となっている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規求人は4か月連続で増加したものの、新規求職者は3か月ぶりで増加に転じ、有効求人倍率も低下している。また、新卒者の採用意欲も低調である。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の前年比増加率が足踏み状態であり、有効求人倍率が低迷している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・やや落ち着いていた休業等の雇用調整の動きが、東日本大震災の影響でまた出始めている。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・東日本大震災の影響で経済状況が悪化しており、学卒の内定取消や入社時期の繰り下げ等が行われている。また、一般求人においても物流の停滞で製造業が業務停滞しているほか、サービス業も自粛による予約のキャンセル等で売上が激減している。
人材派遣会社（社員）		それ以外	・今月から来月にかけては通常の営業活動を休止する。	
人材派遣会社（社員）		求人数の動き	・どの企業も従業員の安否確認や事業の被害の確認に追われており、求人活動をするような状況にない。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・東日本大震災の影響により採用計画を延長又は一旦停止している企業が多い。	

	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・東日本大震災の影響で仕事はできず、受注も激減している。また、受注しても人が不足している状態でどうしようもない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・東日本大震災による未曾有の被害で、求人広告を含め、広告対応も全く機能していない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・東日本大震災の影響により、経済の動きがほぼストップしている。広告代理店の弊社も今月の売上が前年比で30%落ち込んでいる。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・東日本大震災による公共交通機関の損壊やガソリン不足などで、景気は底が見えないほど悪くなっている。
	職業安定所（職員）	それ以外	・東日本大震災の影響により、求人取消が多く発生している。